

井奥まさきの 市政報告NEWS

2003・10
No.21
秋号

このNEWSは、無所属・市民派の高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

のど元が過ぎれば・・・ 相変わらずの「与党」体制

高砂市議会議員
井奥まさき

2001年9月時点(太字は三役、委員長ポスト)

2002年度「与党」ショック
2002(平成14年)度予算で、地方交付税を約10億円も過大に見積もった事件がありました。この予算は、9人の議員により「水増しである」と指摘されていたにも関わらず、賛成多数で可決されました。

しかし、あまりにずさんな判断に市民からの批判が続出。「与党」的言動をとった議員は現職にも関わらず、3人が落選しました。

熱さを忘れた「与党」
地方議会は、本来「与党」「野党」がないはずです。大統領たる市長には全員が「是々非々」の野党であるべきです。

しかし、国政と混同して「与党」志向の議員がおり、「行政の言うことは何でも賛成」となっています。

そして、そうした議員ほど役職にこだわります。右の図を見ていただいても、おわかりのように、「与党」「野党」会派で見事に分かれています。(議長、副議長、監査、4つの常任委員会委員長、議会運営委員会委員長の8つが太字)

実は去年はそうでも無かったのですが、そろそろ「与党惨敗」の傷が癒え「与党」で役職の分け合いになったようです。

このままでは、下手をすると、またもや数を頼みにした「粉飾予算」「過大な公共事業」が横行しかねません。

多数派の中にも中間派議員はいます。それに加え、市民のみなさんが厳しく目を光らせることで「選挙だけ」「何でも賛成」議員が少数になることを願っています。

生嶋(政友会・議長)

政友会 6名(+1名)	政和会 4名
岡本(監査)	加古/西野
三枝/坂牛/木村	北野/入江
池本/萬山	日本共産党 2名
民主クラブ 6名	増田/小松
船田/野村/岡田	いきいき 1名
原/近藤/横山	井奥
新社会 3名	志政クラブ 1名
北(副議長)	松本
宮本/秋田	無所属 1名
公明 3名	今竹
小林/橋爪/橋本	

10億円歳入超過を認めた会派

指摘した会派



2003年9月時点(太字は三役、委員長ポスト)

池本(政友会・議長)

政友会 5名(+1名)	政和会 4名
木村	加古/西野
萬山/生嶋/沢野	北野/入江
北畑	いきいき 2名
民主クラブ 4名	井奥/鈴木
船田/近藤	日本共産党 1名
横山(監査)	小松
福元	無所属 1名
市民クラブ 2名	中須
岡本 坂牛	無所属 1名
新社会 3名	今竹
秋田(副議長)/宮本/北	無所属 1名
公明 3名	松本
橋本/砂川/八田	

結婚しました！新事務所＆自宅は荒井町新浜 今市事務所も市民交流の場に

子どもたちとの写真ですっかり誤解されていますが、井奥は「独身」でした。10月19日に結婚式をあげました。(もちろん初婚です)

そして、新事務所兼自宅として、荒井町新浜の労金コープタウンに移転しました。今市事務所も引き続き、山の牛乳をはじめ市民の交流場所に使用します。(新事務所地図は裏面)



井奥まさきの財政公開

収入	
7-9月分報酬(月49万5900円)	148万7700円
支出(7月~9月)	
所得税	6万4050円
議員共済	19万5000円
国民年金	3万9900円
国民保険	12万0000円
市県民税	9万7500円
ともに市政を考える会活動費	22万1250円
(ニュース発行費、人件費、事務所費など)	
借金返済、次回選挙費用積立	30万円
井奥まさき生活費・行動費	45万円
(15万×3ヶ月)	
報酬は月額5%カットとなりました。	

三位一体改革

「国の動きに敏感に」を全体テーマに、三位一体改革と性少数者への対応を取り上げました。また、私自身も理念を示す意味で、持論の「公共の分離」について発言しました。

三位一体改革への備えは

「補助金削減」「地方交付税見直し」「地方への税源委譲」の3つを進める国に対し、高砂市は受け入れる準備があるのか。

田村市長 私これからの行政は住民の立場に立ち、住民に説明できる行政の現場からの柔軟な法的発想による自己決定の運用が求められるのではないかと考えております。

公共の分離を

行政の担ってきている仕事を「公」と「共」に分け、「共」の部分をNPOなどの市民事業にゆだねるべきでは。

田村市長 私の公助・互助の考えと共通する部分があります。珍しく議員と意見が一致するところです。

性少数者への配慮 性別記載の削除

性に違和感のある「性同一性障害」をはじめとする「性少数者」への配慮を。まずは申請書類の性別記載の削除・見直しを考えては？

若森 総務部長 申請書等について、改めてその必要性を十分に検証し、削除可能なものにつきましては、規則の改正など適切に対応していきたい。

毎年の国会のたびに多くの法律が制定されます。今回も「次世代育成法」「廃掃法改正」「性同一性障害」と多くの法律が制定されました。高砂市も敏感に対応して欲しいものです。

総務委員会より

BANBAN-TV (バンバンテレビ) への 2000万円出資は無駄ゼニ ～今後の追加出資が心配～

地域情報化は「公」の仕事か？

BANBAN-TV (バンバンテレビ) が加古川商工会議所と分離し、独立しました。高砂市がそこに対し、2000万円の出資をするという議案が総務委員会で大議論になりました。

私は「すでに光ファイバーが軌道にのり、地域情報化は民間レベルで十分進んでいる。」と指摘しました。

合併希望の会社になぜ出資？

しかも、東播磨2市2町の市長・議長が集まった場で加古川市長は「デジタル投資が過大、元気なうちにどこかと合併を」と本音の発

言をしています。相手先はサンテレビやYahooをあげています。

2市2町の「つきあい」で泥沼に

将来性のない会社への出資のほぼ唯一の理由が「2市2町のつきあい」です。しかし、そんな状況では、いつ「追加出資」を要請されてもおかしくはありません。事実、尼崎のケーブルテレビは合併し、さらに追加出資まで行っています。総務委員会で「出資すべきでない」立場から、「2000万円出資削除」を提案しましたが、不成立でした。

なぜ？消極的な高砂市

曾根の塩田跡地に産廃の不法投棄

～ 8月26日暴力団組員逮捕～

次々と逮捕者が
8月26日に産業廃棄物を不法に投棄していたということで、暴力団組員ら計5人が逮捕されました。さらに10月28日には「不法な処理をされているのを承知していた」として、業務を委託した二人の業者が逮捕されました。

陳情は採択されたが
9月議会の最終日。「市は立ち入り調査をすべき」という陳情が曾根の連合自治会長から出され、全会一致で採択されました。

しかし、本来は行政がもっと積極的に動くべき問題だと思います。

いまだに一通の文書も警察に出さず

行政は不思議なほど消極的です。この原稿を書いている10月

末日、事件発覚から2ヶ月以上がたとうとしているのに、いまだに一通の文書も県警察に提出しようとしません。

住民の立場に立ち、「捜査を徹底的に行って欲しい」という文書がなぜ出せないのでしょうか。私の追求にも田村市長からは「出すから積極的とはいえない」という奇妙な答えしか帰ってきてません。

「ファイト」「ケーアイコーポレーション」両方が問題

問題は「ファイト」が借りて不法投棄をしていた部分だけではありません。隣接する「ケーアイコーポレーション」部分にも廃棄物が積まれたままになっています。

立ち入り、あるいは改善命令といった高砂市の対応がのぞまれます。

悪質な業者の資格取り消しを

今年、「廃棄物および清掃に関する法律」（廃掃法）が改正されました。全国に頻発する産業廃棄物の不法投棄を受け、「悪質な業者には資格取り消しをせねばならない」という条項が加わりました。

もし、業者が立ち入りなどで非協力的であれば、高砂市はぜひ兵庫県に要請をし、「資格取り消し」までも求めるべきです。

いずれにしても、環境を守る立場に立ち、不法投棄を許さない毅然とした態度が必要です。

不公正な市長判断

公募停止の高砂市営住宅に

特別入居者が・・・

入居停止のはずなのに...
「市営住宅に入れないの？」と私のところにも時々相談があります。そのたびに私は「公募は停止しているのです。県営住宅に応募されるか、松波の市営住宅完成を待つかしてはいかがですか」とアドバイスをしていました。

しかし、「市営住宅に特別に入っている人がいるらしい」との情報があり、本会議で確かめました。

田村市長の決裁で特別入居
本会議で判明したのは、14年（2002年）12月に「住宅困窮と低額所得」を理由に1名を市長決裁で入居させているということ

でした。「住宅困窮と低額所得」という条件は高砂市でも少なくない人が悩んでいる事態です。なぜ一人の人間だけに特別待遇をするのか。田村市長の判断に疑問が残ります。

本来は、一刻も早く市営住宅の公募を再開し、条件を吟味して一番困っている方に入居していただくべきです。

市長一人の勝手な判断ができるのでは、行政は成り立ちません。最近の高砂市を象徴する事件でした。

9月議会は、なんと43日間もかかりました。

前半に、公園用地問題で空転の連続で市長問責決議まで飛び出したこと。部再編の条例などずさんな行政提案の修正議論で多くの時間を費やしたからです。

緑が丘の公園用地を市長が無断で判断

～「問題ない」と突っ張る市長に問責決議～

問責決議 賛成18 政友会5（池本/萬山/木村/北畑/沢野）政和会4（加古/西野/北野/入江）公明3（橋本/砂川/八田）いきいき2（井奥/鈴木）無所属3（中須/今竹/松本）共産1（小松）
 反対9 民主4（船田/近藤/横山/福元）新社会3（北/秋田/宮本）市民クラブ2（岡本/坂牛）

議会に無断で第三セクターに返事

市議会だよりの臨時号にも掲載されましたが、この問題の焦点は「田村市長が公園問題で、議会と相談せずに第三セクターに返事をした」という点です。

公園用地は市民の財産。議会や市民と十分話し合っただけで決めるべき問題です。しかし、田村市長は「法的には問題ない。執行兼の範囲」との姿勢を崩しませんでした。

市長にイエローカード！

市議会は全会一致で「白紙に戻し、もう一度ゆっくりと考えるべき」という方針を出しました。しかし、市長は拒否。議会では、「反省を求めるべき」という声が高まり、イエローカードともいえる「問責決議」が可決されました。（一部の会派は同調せず）

それを受け、ようやく市長は「白紙撤回」を承認。ちぐはぐな対応でした。

議案の修正・見直しが続出

～あまりにずさん、おおざっぱではないか！～

他にも9月議会では多くの修正、見直しがありました。普通の行政ならば当然とも言える手続きが抜けている点が多く見られました。もっと「普通」の行政を行って欲しいものです。カッコ内は修正・見直し理由です。

継続審議 部再編・機構改革

（内部の検討が不足）

条例修正 市営住宅条例（法律知識の欠如）

予算修正 部再編の継続審議にともなう予算の削除

高齢者交流事業（市民との対話不足）

井奥まさき日誌（抄）

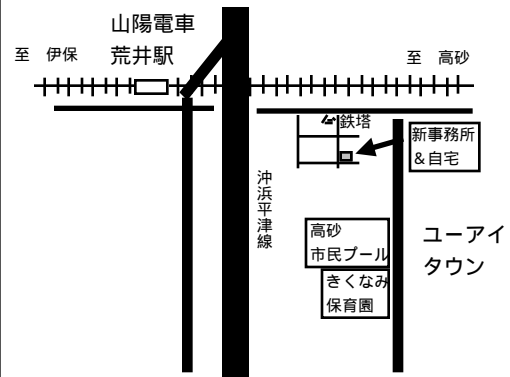


- 7月
- 16日 全員協議会
- 23日 議会運営委員会
- 27日 予算勉強会（高槻市）
- 28日～31日 臨時議会
- 8月
- 2日 市政報告会（今市）
まちづくり協議会（中央公民館）参加
- 3日 市政報告会（アーバン、紙町）
- 4日 虹と緑勉強会「合併と広域連合」（静岡市）
- 6日 行政改革特別委員会
- 10日 市民力アップ講座 講師（岡山市）
- 11日 兵庫議員ネット（明石市）「入札問題」
- 15日 虹と緑ブックレット作成完成
- 23日 虹と緑 岡山研究集会
- 24日 虹と緑 岡山総会
- 27日 代表者会議
- 28日 全員協議会
- 9月
- 1日、3日、4日、5日 産業廃棄物不法投棄事件街頭宣伝（伊保駅、山電・JR曾根駅、宝殿駅）
- 10日 行政改革特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日 9月議会（～10月28日）
- 21日 虹と緑 関西 会合（尼崎市）
- 10月
- 4日 WTO勉強会（京都）
- 6日～20日 質疑
- 19日 結婚式（高砂神社）
- 21日 一般質問
- 22日、24日、25日、28日 総務委員会
- 23日 宝殿中学校組合議会
- 25日 入浜権30周年記念講演（生石研修センター）
- 29日 新事務所引越し

リアルタイムでカレンダーを公開中
<http://calendar.yahoo.co.jp/ioku3/>

井奥まさき新事務所 & 自宅

荒井駅横の踏切を渡り、すぐ東行きの道路に。鉄塔が目印です。
 沖浜平津線で渡った場合は、市民プールが目印です。



市政にこんなことを望みたい！

これはどうなっているの？

市政・市民相談受けつけます

TEL 0794-44-2343

FAX 44-2418

e-mail:ioku3@yahoo.co.jp

あなたの近くでも市政報告会を企画して下さい。
 何人でも結構です。市内どこでもかけつけます。